

9.8.6 施工法	JASS 8 2.2.6を適用する。
9.8.7 施工管理	a.作業環境 (1)降雨時・降雪時には溶接作業をしてはならない。 (2)強風により金属系防水シートのばたつき、折れ、飛散などが予想される場合、作業してはならない。 b.検査・試験 (1)完成時の検査・試験 (i)目視検査によりシーム溶接部に未溶接部や穴などの欠損がないことを確認する。欠陥が発見された場合は、ただちに補修する。 (ii)水張り試験 ○実施する（実施する場合の方法等は、JASS 8 による） ○実施しない

○ 9節 セメント防水 [追加]										
9.9.2 材料他	a. この項は標仕9.1.2 9.1.3を適用する。 b. セメント防水に使用する防水剤はJIS 1404:2015による試験に合格したものと、防水材製造者の仕様に基づき施工する。 c. ポリマーセメント系塗膜防水に使用する防水材は、日本建築学会が刊行している、「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)」の品質規格に適合したものと、防水材製造者の仕様に基づき施工する。 d. 上記以外の材料については、監理者の承諾を受ける。 防水層の適用箇所及び種別									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○セメント防水</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ポリマーセメント系塗膜防水</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種別	備考(程度)		○セメント防水			○ポリマーセメント系塗膜防水	
施工箇所	種別	備考(程度)								
	○セメント防水									
	○ポリマーセメント系塗膜防水									
	e. ポリマーセメント系塗膜防水の仕様 ○PA-1 ○PA-2 ○PA-3 ○PB-1 f. ポリマーセメント系塗膜防水層の保護・仕上げ ○非歩行用仕上げ塗料 ○軽歩行用仕上げ塗料 ○セメントモルタル ○薄塗り型ポリマーセメントモルタル ○保護覆層材(防水材製造業者の仕様による)									

○ 10節 FRP系塗膜防水 [追加]	
9.10.1 一般事項	この節は、建築物の屋根、開放廊下、ベランダ、室内、水槽類、水泳プール、人口池、庭園、外構などにFRP系塗膜防水を施工する場合に適用する。
9.10.2 性能	JASS 8 1.1.2を適用する。
9.10.3 防水下地の種別と適用	基本条件 原則、現場打ち鉄筋コンクリート下地に適用する

9.10.4 防水層の種別と適用	a. 防水層の種別及び適用は、JASS 8 標準仕様、指針仕様、指針参考仕様による。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>適用</th> <th>保護・仕上の種別</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種別	適用	保護・仕上の種別	備考(程度)										
施工箇所	種別	適用	保護・仕上の種別	備考(程度)												
9.10.5 材料	a. JASS 8 1.1.9 塗膜防水工事のb.材料に記載のあるFRP系塗膜防水工事に係る項目を適用する。															
9.10.6 施工法	a. JASS 8 1.1.9 塗膜防水工事のc.施工方法に記載のあるFRP系塗膜防水工事に係る項目を適用する。															
9.10.7 保護・仕上げ	a. FRP系塗膜防水層の保護・仕上げの種類は、JASS 8 標準仕様、参考仕様、並びに、建築学会「FRP防水工事施工指針」による仕様に記載のあるものを標準とする他、JASS 8 1.1.9 (塗膜防水工事)d.保護・仕上げに記載のある項目を適用する。保護・仕上げ層の施工に先立ち、防水層の硬化状態を確認する。															

## 10章 石工事

● 1節 共通事項	
10.1.3 施工一般 [追加]	(1)石材の割付け:●設計図による a. 施工は、石専門工業者による。 b. 施工図には、石材等の種類、厚さ、大きさ、仕上げ、割付け、取付け工法、取付け金物及び他の工事との取合い等の詳細を記載する。

● 2節 材料																																					
10.2.1 石材	(1)天然石																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>等級</th> <th>品質(産地、程度)</th> <th>厚さ</th> <th>目地寸法(幅×深さ)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>裏面処理及び裏打処理</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	等級	品質(産地、程度)	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	裏面処理及び裏打処理	工法						x									x									x			
施工箇所	種類	等級	品質(産地、程度)	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	裏面処理及び裏打処理	工法																													
					x																																
					x																																
					x																																
	(2)テラゾ・凝石																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>等級</th> <th>種石(種類)</th> <th>厚さ</th> <th>目地寸法(幅×深さ)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	等級	種石(種類)	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	備考(程度)						x								x								x						
施工箇所	種類	等級	種石(種類)	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	備考(程度)																														
					x																																
					x																																
					x																																
	[追加] (3)人造石・加工石																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>等級</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>目地寸法(幅×深さ)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洗面カウンター</td> <td></td> <td></td> <td>メタクリ樹脂</td> <td>19</td> <td>2 x 14</td> <td></td> <td>コーリアン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	等級	材質	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	備考(程度)	洗面カウンター			メタクリ樹脂	19	2 x 14		コーリアン						x								x						
施工箇所	種類	等級	材質	厚さ	目地寸法(幅×深さ)	表面仕上げ	備考(程度)																														
洗面カウンター			メタクリ樹脂	19	2 x 14		コーリアン																														
					x																																
					x																																

10.2.2 取付金物	(1)外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物 ○外壁湿式工法の受金物の材質:○SS400 ●SUS304 ○( ) ○内壁空積工法の受金物の材質:○SS400 ●SUS304 ○( ) (2)乾式工法用金物の方式:○スライド方式 ○ロックング方式
----------------	--

10.2.3 その他の材料	(5)外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質: ○樹脂ネット製パイプ、クロスメッシュ巻き 25~35φ ○ステンレス製パイプ SUS304
	○ 3節 外壁湿式工法
	○ 4節 内壁空積工法
	○ 5節 乾式工法
	○ 6節 床及び階段の石張り
	○ 7節 特殊部位の石張り
10.7.5 [追加] 定礎石	石の種類 :○花こう岩(程度) ○( ) 仕上げ :○本磨 ○( ) 形状寸法(mm): x x ・彫り込み文字:( ) 埋蔵品収納箱 :○本工程(○鋼製 ○ステンレス製) ○別途工事 ○不要

## 11章 タイル工事

○ 1節 共通事項	
11.1.2 [追加] 基本要品品質	a. 施工は、タイル専門工業者による。 b. 施工図には、タイルの材質、割付け、張しろ、出隅内隅部分、伸縮目地、特殊部分の取付け方法及び他の工事との取合い等の詳細を記載する。

○ 2節 セメントモルタルによるタイル張り																																																																																		
11.2.2 材料	(1)タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特注色の別等																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所 又は仕上表の 分類記号</th> <th rowspan="2">タイル形状</th> <th colspan="3">寸法</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">耐滑り性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">施釉</th> <th rowspan="2">備考(程度)</th> </tr> <tr> <th>縦(mm)</th> <th>横(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所 又は仕上表の 分類記号	タイル形状	寸法			耐凍害性		耐滑り性		色		施釉		備考(程度)	縦(mm)	横(mm)	厚さ(mm)	有	無	有	無	標準	特注	有	無						○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	
施工箇所 又は仕上表の 分類記号	タイル形状			寸法			耐凍害性		耐滑り性		色		施釉			備考(程度)																																																																		
		縦(mm)	横(mm)	厚さ(mm)	有	無	有	無	標準	特注	有	無																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
	(2)役物:●適用する ○適用しない (3)試験張り:●行わない ○行う ( )																																																																																	

11.2.3 張付け用材料	(3)○現場調合モルタル ○既調合モルタル
11.2.7 施工	(1)下地及びタイルごしらえ コンクリート素地面:○MCR工法 ○高圧洗浄 ○超高压洗浄 (3)壁タイル張り工法の適用 内装タイル:○改良積上げ張り 外装タイル:○密着張り ○改良積上げ張り ○改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル:○マスク張り ○モザイクタイル張り

○ 3節 有機系接着剤によるタイル張り																																																																																		
11.3.2 材料	(1)タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特注色の別等																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所 又は仕上表の 分類記号</th> <th rowspan="2">タイル形状</th> <th colspan="3">寸法</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">耐滑り性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">施釉</th> <th rowspan="2">備考(程度)</th> </tr> <tr> <th>縦(mm)</th> <th>横(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所 又は仕上表の 分類記号	タイル形状	寸法			耐凍害性		耐滑り性		色		施釉		備考(程度)	縦(mm)	横(mm)	厚さ(mm)	有	無	有	無	標準	特注	有	無						○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	
施工箇所 又は仕上表の 分類記号	タイル形状			寸法			耐凍害性		耐滑り性		色		施釉			備考(程度)																																																																		
		縦(mm)	横(mm)	厚さ(mm)	有	無	有	無	標準	特注	有	無																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
					○	○	○	○	○	○	○	○																																																																						
	(2)役物:●適用する ○適用しない (3)試験張り:●行わない ○行う( )																																																																																	
11.3.3 張付け用材料	(1)接着剤のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○																																																																																	
11.3.7 施工	(1)下地及びタイルごしらえ コンクリート素地面:○MCR工法 ○目荒し工法 (2)壁タイル張り工法の適用 ○内装タイル ○外装タイル ○内装タイル以外のユニットタイル																																																																																	

## 12章 木工事

● 1節 共通事項									
12.1.4 表面仕上げ	見え掛り面の表面仕上げの程度と適用範囲:								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表面仕上げの程度</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●A種(超自動機械かん掛け仕上げ)</td> <td>内部造作見え掛り材</td> </tr> <tr> <td>○B種(自動機械かん掛け仕上げ)</td> <td>外部造作見え掛り材</td> </tr> <tr> <td>●C種(サンダー掛け仕上げ)</td> <td>下地材</td> </tr> </tbody> </table>	表面仕上げの程度	適用箇所	●A種(超自動機械かん掛け仕上げ)	内部造作見え掛り材	○B種(自動機械かん掛け仕上げ)	外部造作見え掛り材	●C種(サンダー掛け仕上げ)	下地材
表面仕上げの程度	適用箇所								
●A種(超自動機械かん掛け仕上げ)	内部造作見え掛り材								
○B種(自動機械かん掛け仕上げ)	外部造作見え掛り材								
●C種(サンダー掛け仕上げ)	下地材								

● 2節 材料																	
12.2.1 木材	(1)(イ)含水率 (表12.2.1)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>木材部位</th> <th>含水率の種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●下地材</td> <td>●A種 ○B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>●造作材</td> <td>●A種 ○B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	木材部位	含水率の種別	備考	●下地材	●A種 ○B種		●造作材	●A種 ○B種								
木材部位	含水率の種別	備考															
●下地材	●A種 ○B種																
●造作材	●A種 ○B種																
	(2)製材 (ア)「製材の日本農林規格」による製材: ○(a)下地用針葉樹製材																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>材面の品質</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○杉 ○松</td> <td></td> <td>●2級</td> <td></td> <td>○板類耳付 ○押角</td> <td>%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法	等級	材面の品質	形状	含水率	保存処理		○杉 ○松		●2級		○板類耳付 ○押角	%以下	
施工箇所	樹種	寸法	等級	材面の品質	形状	含水率	保存処理										
	○杉 ○松		●2級		○板類耳付 ○押角	%以下											
	○(b)造作用針葉樹製材																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>材面の品質</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○杉 ○松</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○板類 ○角類</td> <td>%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法	等級	材面の品質	形状	含水率	保存処理		○杉 ○松				○板類 ○角類	%以下	
施工箇所	樹種	寸法	等級	材面の品質	形状	含水率	保存処理										
	○杉 ○松				○板類 ○角類	%以下											

○(c)広葉樹製材							
施工箇所	樹種	寸法	等級	材面の品質	形状	含水率	保存処理
	○杉 ○松		●1等		○耳付有 ○耳付無	%以下	
(イ)「製材の日本農林規格」以外の製材							
○(a)下地、造作及び仕上げに用いる製材							
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	

(3)造作用集成材:ホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○							
(ア)「集成材の日本農林規格」による製材:							
●(a)造作用集成材 <JAS>							
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級				
図示			●1等 ○2等				

●(b)化粧張り造作用集成材 <JAS>							
施工箇所	化粧薄板樹種	心材樹種	寸法	化粧薄板厚さ(m)	見付け材面等級		
敷居、樞、階段板上面				●1.5以上	●1等 ○2等		
柱、枠、額縁				●1.2以上	●1等 ○2等		
敷居の溝底				●3.0堅木	●1等 ○2等		
寄摺				●3.0堅木	●1等 ○2等		

○(c)化粧張り構造用集成柱				
施工箇所	化粧薄板樹種	芯材樹種	寸法	化粧薄板の厚さ

(イ)「集成材の日本農林規格」以外の製材				
●(a)造作用集成材				
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率
仮眠室	タモ			●15%以下

○(b)化粧張り造作用集成材					
施工箇所	化粧薄板樹種	心材樹種	寸法	化粧薄板厚さ	見付け材面品質

含水率:●15%以下				
○(c)化粧張り構造用集成柱				
施工箇所	化粧薄板樹種	心材樹種	寸法	化粧薄板厚さ

(4)造作用単板積層材:ホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○				
○(ア)「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材:				
施工箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理	

○(イ)「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材:				
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理
			●14%以下	

(5)直交集成材(「直交集成材の日本農林規格」第3条「規格」)						
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法

(6)床張り用合板等:ホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○							
(ア)下地合板							
●(a)普通合板							
施工箇所	厚さ	表面の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理
設計図による	●5.5mm		●1類				

●(b)構造用合板						
施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ	保存処理
設計図による	●2級以上		○特類 ●1類	C-D以上	●12mm	

○(イ)化粧張り構造用合板(「合板の農林規格」第7条「化粧張り構造用合板の規格」)				
施工箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接着の程度
				※常時湿潤状態の場合は特殊

○(ウ)天然木化粧合板(「合板の農林規格」第8条「天然木化粧合板の規格」)				
施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の程度	

○(エ)特殊加工化粧合板(「合板の農林規格」第9条「特殊加工化粧合板の規格」)					
施工箇所	品目	厚さ	単板の樹種名	接着の程度	化粧加工の方法
					○オーバーレイ○プリント ○塗装○

○(オ)パーティクルボード					
施工箇所	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分(N/mm <sup>2</sup> )	接着材による区分	厚さ	
		●15	OM OP	15mm	
○(カ)構造用パネル					
施工箇所	等級	厚さ	備考		
○(キ)ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)(JIS A5905)					
施工箇所	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性	厚さ
	○普通MDF ○素地MDF ○無研磨(RN) ○研磨(RS) ○化粧MDF ○単板オーバーレイ(DV) ○プラスチックオーバーレイ(DO) ○塗装(DC) ○構造用MDF ○無研磨(RN) ○研磨(RS)	○30タイプ ○25タイプ ○15タイプ ○5タイプ	○Uタイプ ○Mタイプ ○Pタイプ	○難燃2級 ○難燃3級	

12.2.2 接合具等	(3)接着材のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○
----------------	-----------------------------

12.2.3 木れんが	(2)接着材のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○
○ 3節 防菌・防蟻・防虫処理	
12.3.1 防菌・防蟻処理	(ア)薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 適用部位:( ) 保存処理性能区分:( ) (イ)薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理 (a)木材保存剤による処理及び薬剤 ○通常、水分が供給される可能性が少ないが、突発的に高温の環境下に置かれる可能性のある木材への使用 ○薬剤の種類:( ) ○適用範囲:( ) (b)処理方法:●標仕12.3.1(イ)(b)による ○( ) (ウ)ボード原料接着材への薬剤混入による防菌・防蟻処理 保存処理性能区分:( ) 処理方法:( ) (エ)合板等の加圧注入による防菌・防蟻処理 ○合板の日本農林規格 ○集成材の日本農林規格 ○単板積層材の日本農林規格 ※保存処理性能区分K3に適合するもの又はこれと同等の保存処理性能のものとする。

12.3.2 防虫処理	適用:( )
○ 4節 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切輪組及び床組	
12.4.1 木材	(1)間仕切輪組に用いる木材 ○杉 ○松 ○( ) (2)床組に用いる木材 ○杉 ○松 ○( ) 但し、スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太 ○ひのき ○保存処理木材

○ 5節 窓、出入口その他	
12.5.1 木材	窓、出入口その他に用いる木材 ○( ) 吊元枠・水掛りの下枠、敷居、その他 ○松 ○杉
○ 6節 床板張り	
○ 7節 壁及び天井下地	
12.7.1 木材	木材 ○杉 ○松 ○( )

13章 屋根及びびとい工事	
● 1節 共通事項	
13.1.3 [追加] 施工一般	a. 施工は、屋根専門工業者による。 b. 施工図には、勾配、排水溝、立上り部分、谷部分、軒、軒先、けらば廻り、ドレーン廻り、貫通部分及び他の工事との取合い等の詳細を記載する。

○ 2節 長尺金属板葺																					
13.2.2 材料	(1)長尺金属板の種類:																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>材料</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●JIS G 3322</td> <td>CGLCC</td> <td>AZ150</td> <td>0.4</td> <td>屋根</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規格番号	材料	めっき付着量	厚さ(mm)	施工部位	●JIS G 3322	CGLCC	AZ150	0.4	屋根	○					○				
規格番号	材料	めっき付着量	厚さ(mm)	施工部位																	
●JIS G 3322	CGLCC	AZ150	0.4	屋根																	
○																					
○																					
	(3)下葺材料の種類 ○JIS A 6005(アスファルトルーフィングフェルト)によるアスファルトルーフィング940 ○改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ、複層基材タイプ、粘着層付タイプ) ※釘又はステープルが打てない下地の場合は、改質アスファルトルーフィング下葺材(粘着層付タイプ)とする。																				

13.2.3 工法	(1)屋根葺形式:○横葺 ○瓦葺(心木なしの場合) ○立平葺 ○( ) (2)耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法:( ) (3)屋根葺工法:( ) (4)○雪止め:○設ける ○設けない
--------------	---

13.3.2 材料	(1)折板 形式:○重ね形 ○はせ絡め形 ○かん合形 ○ 山高:○( )mm 山ピッチ:○( )mm 耐力による区分:○( ) 材料による区分:○鋼板製 ○( ) 厚さ:○( )mm (2)折板に使用する材料:●塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (3)タイトフレームに使用する材料:○直接外気の影響を受けない屋内の場合の表面処理: ○表14.2.2〔鉄鋼の亜鉛めっきの種類〕F種 ○( ) (5)軒先面戸板:○適用する ○適用しない (7)断熱材張り 断熱材張り:○しない ○する:断熱材の種類:( ) 厚さ:( )mm 防火性能 :○30分 ○										
13.3.3 工法	(1)工法:○( )										
○ 4節 粘土瓦葺											
13.4.2 材料	(1)粘土瓦 種類:○( ) 大きさ:○( ) 産地:○( ) 役物瓦の種類:○( ) 雪止瓦の使用:○する ○しない JIS A5208に基づく凍害試験:○行う ○行わない (2)瓦棟木及び棟木取付け用部材等 材質:●杉又はひのき(防腐処理済) ○( ) 寸法:●幅21mm×高さ15mm以上 ○( ) (3)棟補強用心材 材質:●杉又はひのき(防腐処理済) ○( ) 寸法:●幅40mm×高さ30mm以上 ○( ) (4)瓦留付け用釘、緊結線、棟補強用金物等 棟補強に使用する金物 材質:○ステンレス製 ○溶融亜鉛メッキ処理を行った鋼製 形状:( )寸法:( )留め付け方法:( )										
13.4.3 工法	(1)工法:○( ) (3)棟木の留付け工法:○( ) (4)棟の工法:○7寸丸伏せ棟 ○形用冠瓦伏せ棟 ○のし積み棟 ○( )										
● 5節 とい											
13.5.2 材料	(1)とい 材質:○配管用鋼管 ○排水管継手 ○硬質ポリ塩化ビニル管(OVP OVM OVU) ○硬質ポリ塩化ビニル管継手 ○硬質塩化ビニル雨とい ○塩ビライニング鋼管(DLLP) ○表面処理鋼板 ○ステンレス鋼板 ●アルミニウム雨とい 耐酸被覆鋼板:○( ) (2)とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 多雪地域の適用 ○適用する ○適用しない (3)防露材 防露材のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○										
13.5.3 工法	鋼管製といの防露巻き工法:●表13.5.4による ○										
14章 金属工事											
● 1節 共通事項											
14.1.2 [追加] 基本要品質	a. 施工図には取付け工法、他の工事との取合い等詳細を記載する。屋外軒先天井等風圧を受ける部分及び吊荷重の大きな部分等には、補強を行う。										
● 2節 表面処理											
14.2.1 ステンレスの表面仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>表面処理の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計図による</td> <td></td> <td>●HL ○No.2B ○鏡面 ○( )</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	表面処理の種類	設計図による		●HL ○No.2B ○鏡面 ○( )				
施工箇所	種類	表面処理の種類									
設計図による		●HL ○No.2B ○鏡面 ○( )									
14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>皮膜又は複合皮膜の種類</th> <th>着色方法</th> <th>色合い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計図による</td> <td>○( )種</td> <td>○AA15 ○AA6</td> <td>○二次電解着色</td> <td>○シルバー</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)化成皮膜(種類:C種)の上に常温乾燥形の塗装の場合:化成皮膜処理を施した上にロールコート塗装とする。</p>	施工箇所	種類	皮膜又は複合皮膜の種類	着色方法	色合い	設計図による	○( )種	○AA15 ○AA6	○二次電解着色	○シルバー
施工箇所	種類	皮膜又は複合皮膜の種類	着色方法	色合い							
設計図による	○( )種	○AA15 ○AA6	○二次電解着色	○シルバー							
14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき	●外部に使用する鉄鋼部は全て亜鉛めっきとし付着量試験を行う。 (表14.2.2)										
○ 3節 溶接、ろう付けその他											
● 4節 軽量鉄骨天井下地											
14.4.2 材料	(2)野縁等の種類:屋内 ●19型 ○25型 屋外 ○19型 ●25型										
14.4.3 形式及び寸法	(1)屋外の場合(庁舎棟車庫上部の吹抜天井も該当): 野縁受等の間隔(一般部):● 900mm 野縁受等の間隔(周辺部):● 100mm 屋外の野縁の間隔:● 300mm										

14.4.4 工法	ただし、上記の野縁等は特定天井には適用しない。また、耐震性・耐風性の検討により上記と異なる種類、間隔となる場合はその結果による。 (8)天井ふところが1.5mを超える場合の補強: ●設計図による(構造的検討をしたどう棚等を下地とした直天井とする) (10)天井下地材における耐震性を考慮した補強:												
特徴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>仕様A</th> <th>仕様B</th> <th>仕様C</th> <th>仕様D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【特定天井】 告示第771号で規定される天井</td> <td>【耐震対策天井】 特定天井に該当しないが、特定天井と同等、または特定天井に準ずる耐震性を有する天井</td> <td>【落下低減天井】 天井の落下低減を図った天井</td> <td>【標準天井】 標準仕様書に準拠した天井</td> </tr> </tbody> </table>	仕様A	仕様B	仕様C	仕様D	【特定天井】 告示第771号で規定される天井	【耐震対策天井】 特定天井に該当しないが、特定天井と同等、または特定天井に準ずる耐震性を有する天井	【落下低減天井】 天井の落下低減を図った天井	【標準天井】 標準仕様書に準拠した天井				
仕様A	仕様B	仕様C	仕様D										
【特定天井】 告示第771号で規定される天井	【耐震対策天井】 特定天井に該当しないが、特定天井と同等、または特定天井に準ずる耐震性を有する天井	【落下低減天井】 天井の落下低減を図った天井	【標準天井】 標準仕様書に準拠した天井										
適用箇所	<table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上表による(適用基準)</th> <th>仕上表による(適用例)</th> <th>仕上表による(適用例)</th> <th>仕上表による(適用例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積:200㎡超かつ高さ:6m超かつ質量:2kg/㎡超かつ用途:人が日常利用する場所</td> <td>左記に準ずる部屋 防災上重要な部屋など</td> <td>一般居室 避難通路など</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>	仕上表による(適用基準)	仕上表による(適用例)	仕上表による(適用例)	仕上表による(適用例)	面積:200㎡超かつ高さ:6m超かつ質量:2kg/㎡超かつ用途:人が日常利用する場所	左記に準ずる部屋 防災上重要な部屋など	一般居室 避難通路など	その他				
仕上表による(適用基準)	仕上表による(適用例)	仕上表による(適用例)	仕上表による(適用例)										
面積:200㎡超かつ高さ:6m超かつ質量:2kg/㎡超かつ用途:人が日常利用する場所	左記に準ずる部屋 防災上重要な部屋など	一般居室 避難通路など	その他										
設計水平度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>○告示と1.0Gの大きいほう</th> <th>○告示による</th> <th>なし</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○告示による</td> <td>○告示による</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	○告示と1.0Gの大きいほう	○告示による	なし	なし	○告示による	○告示による						
○告示と1.0Gの大きいほう	○告示による	なし	なし										
○告示による	○告示による												
設計鉛直度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>○告示による</th> <th>○告示による</th> <th>なし</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○0.5G</td> <td>○0.5G</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	○告示による	○告示による	なし	なし	○0.5G	○0.5G						
○告示による	○告示による	なし	なし										
○0.5G	○0.5G												
耐震ブレース	あり(詳細は図示) あり(詳細は図示) なし なし												
ハンガー	- - ハンガービス留め 在来工法												
クリップ	- - クリップビス留め 在来工法												
壁・柱との間のクリアランス	○60mm ○60mm なし なし												
○ 5節 軽量鉄骨壁下地													
14.5.3 形式及び寸法	(1)スタッド、ランナーの種類: <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>●表14.5.1による ○50形 ○65形 ○75形 ○90形 ○100形</td> </tr> </tbody> </table> <p>注4. 高さが5mを超える場合 (表14.5.1) ●設計図による (構造計算による部材を適用する) 層間変位等によるさし目対策 ○無 ●有(特記 地震・強風による層間変位時の異音発生を防止するための対策を施すこと(ランナー長さの調整及びランナーとビスの絶縁等))</p>	施工箇所	種類		●表14.5.1による ○50形 ○65形 ○75形 ○90形 ○100形								
施工箇所	種類												
	●表14.5.1による ○50形 ○65形 ○75形 ○90形 ○100形												
○ 6節 金属成形板張り													
14.6.2 材料	(1)種別及び表面処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種</th> <th>形状製法</th> <th>表面処理</th> <th>取付け下地</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	材種	形状製法	表面処理	取付け下地	備考(程度)						
施工箇所	材種	形状製法	表面処理	取付け下地	備考(程度)								
14.6.3 工法	(5)長尺ものの伸縮調整継手 ○無 ○有(特記)												
● 7節 アルミニウム製笠本													
14.7.2 材料	(1)(3)アルミニウム製笠木の種類と表面処理 (表14.2.1)												
14.8.2 手すり	(1)手すりの材料種別:●設計図による ○( )												
14.8.3 タラップ	(1)材料及び仕上げ 材料種別:●ステンレス(SUS304) ○その他( )												

○ 9節 システム天井 [追加]																			
14.9.1 [追加] 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>方式</th> <th>バー材種</th> <th>天井材</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>アルミ材の着色</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ライン方式 ○クロス方式 ○口型方式</td> <td>○アルミニウム ○スチール</td> <td>○ロックウール ○グラスウール</td> <td></td> <td>○あり ○なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>システム天井における耐震性を考慮した補強:●設計図による ○( ) ●軽量鉄骨天井下地、(天井下地材における耐震性を考慮した補強(表14.4.4(10)))に準じる ●施工計画書に天井設計用加速度に対する天井下地材の安全性(壁とのクリアランスを含む)についての計算書を添付し、監理者の承認を得ること。天井上材についても同等の安全性とすること。</p>	施工箇所	方式	バー材種	天井材	厚さ(mm)	アルミ材の着色	備考		○ライン方式 ○クロス方式 ○口型方式	○アルミニウム ○スチール	○ロックウール ○グラスウール		○あり ○なし		15章 左官工事			
施工箇所	方式	バー材種	天井材	厚さ(mm)	アルミ材の着色	備考													
	○ライン方式 ○クロス方式 ○口型方式	○アルミニウム ○スチール	○ロックウール ○グラスウール		○あり ○なし														
● 1節 共通事項																			
15.1.2 基本要品質	●屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。																		
● 3節 モルタル塗り																			
15.3.2 材料	(1)モルタル:●現場調合材料 ○既調合材料 (6)既製目地材:●適用する(材質:塩ビ製・形状:溝目地) ○適用しない																		
15.3.5 工法	(2)(ウ)床目地の設置及び工法 設置:●設置する(室内は縦横1.8m程度、廊下は3.6m程度の割付間隔) ○設置しない 工法:●押し目地 ○( ) (4)(イ)(ロ)③外壁タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験: ○適用:試験範囲( )																		
● 4節 床コンクリート直均し仕上げ																			
○ 5節 セルフレベリング材塗り																			
15.5.2 材料	(1)種類及び品質 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>圧縮強度(N/mm2以上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○せつこう系</td> <td>●10 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○セメント系</td> <td>●10 ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					施工箇所	種類	厚さ(mm)	圧縮強度(N/mm2以上)		○せつこう系	●10 ○			○セメント系	●10 ○			
施工箇所	種類	厚さ(mm)	圧縮強度(N/mm2以上)																
	○せつこう系	●10 ○																	
	○セメント系	●10 ○																	
○ 6節 仕上塗材仕上げ																			
15.6.2 材料	(1)仕上塗材 (ア)ホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○ (イ)種類、仕上げの形状、工法 (表15.5.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ)内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合: ○適用:( ) (キ)複層仕上塗材の耐候性 ●耐候性3種 ○( ) (ク)複層仕上塗材の上塗材種類 溶媒:●水系 ○溶剤系 樹脂:●アクリル系 外観:●つやあり ○つやなし ○メタリック (ケ)防水形の増塗材:●行う (2)防火材料の指定が必要な場合: ●建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。</p>					施工箇所	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	備考									
施工箇所	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	備考															
15.6.4 下地処理	(4)ALCパネルの内壁目地部の形状: ●V形目地付き ○( )																		
○ 7節 マスチック塗材塗り																			
15.7.2 材料	(1)種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、及びALCパネルの下地面</td> <td>○A種 ○B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)仕上げ材塗り: ●適用:種類:●つや有合成樹脂エマルジョンペイント ○アクリル樹脂エナメル</p>					塗装面	種別	○コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、及びALCパネルの下地面	○A種 ○B種										
塗装面	種別																		
○コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、及びALCパネルの下地面	○A種 ○B種																		
○ 8節 せつこうプラスター塗り																			
15.10.1 一般事項	下地:○木ずり、こまじ土壁塗り、せつこうラスボード、せつこうボード以外の下地																		
15.10.2 材料	○現場調合材料 ○既調合材料(しっくい塗材の種類等: )																		
● 12節 ロックウール吹付け																			
15.12.2 材料	(1)ロックウールのホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○ (4)接着剤のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○ <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階スラブ下(免震層)</td> <td>●断熱用 ○吸音用</td> <td>70mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					施工箇所	種類	厚さ(mm)	備考(程度)	1階スラブ下(免震層)	●断熱用 ○吸音用	70mm							
施工箇所	種類	厚さ(mm)	備考(程度)																
1階スラブ下(免震層)	●断熱用 ○吸音用	70mm																	
15.12.3 配合及び密度等	(2)仕上げ吹付け厚さ:○( )																		
16章 建具工事																			
● 1節 共通事項																			
16.1.1 [追加] 一般事項	a. 建具の施工図には、平面図、材料、防火区画、ガラスの取付け、金物の納まり、シーリング材、主体工事その他工事との関係等、必要事項を漏れなく記載する。																		
16.1.2 [追加] 基本要品質	(4)性能確認試験 性能確認試験:●行わない ○行う( ) 試験の種類:○耐風圧 ○耐震 ○水密 ○気密 ○遮音 ○( ) 試験体の製作:●製作しない ○製作する(寸法: )																		

16.1.3 防火戸	(1)防火戸の指定:●設計図による (3)自動閉鎖機構関連:●設計図による																																				
16.1.4 見本の製作等	(1)建具見本の製作:●しない ○する( ) (2)仮組の実施:●しない ○する( )																																				
16.1.6 その他	(2)防犯建物部品:○適用する ○適用しない																																				
● 2節 アルミニウム製建具																																					
16.2.2 性能及び構造	(2)アルミニウム製建具の性能値等 (ア)耐風圧性、気密性、性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (表16.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各AW</td> <td>●A種 ○B種 ○C種</td> <td>標仕による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ア)耐風圧性、気密性、性能等級等(木下地) (表16.2.2)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○D種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○E種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ)遮音性能等級等 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>性能等級</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各AW</td> <td>●T-1 ○T-2 ○T-3 ○T-4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ)断熱性能等級 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>性能等級</th> <th>備考(程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各AW</td> <td>○H-1 ●H-2 ○H-3 ○H-4 ○H-5 ○H-6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ)耐震性能:面内変形追随性の等級:D-1→D-3(クレード低→高) ○D-1(面内変形角1/300rad) ●D-2(面内変形角1/150rad) ○D-3(面内変形角1/120rad)</p> </p></p></p>					施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)	各AW	●A種 ○B種 ○C種	標仕による		施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)		○D種				○E種			施工箇所	性能等級	備考(程度)	各AW	●T-1 ○T-2 ○T-3 ○T-4		施工箇所	性能等級	備考(程度)	各AW	○H-1 ●H-2 ○H-3 ○H-4 ○H-5 ○H-6	
施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)																																		
各AW	●A種 ○B種 ○C種	標仕による																																			
施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)																																		
	○D種																																				
	○E種																																				
施工箇所	性能等級	備考(程度)																																			
各AW	●T-1 ○T-2 ○T-3 ○T-4																																				
施工箇所	性能等級	備考(程度)																																			
各AW	○H-1 ●H-2 ○H-3 ○H-4 ○H-5 ○H-6																																				
16.2.3 材料	(5)網戸等 網の材質:○合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製																																				
16.2.4 形状及び仕上げ	(4)表面処理の種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各AW</td> <td>○BA-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BA-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ●BB-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BB-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○C種(化成皮膜の上に塗装)</td> </tr> </tbody> </table> <p>着色塗料の種類 高耐久性塗料 ○高温硬化型(熱加塑性)フッ素樹脂系塗料 ○常温硬化型(熱硬化型:中温、低温)フッ素樹脂系塗料 ○常温硬化型(熱硬化型:中温、低温)アクリルシリコン樹脂系塗料 一般環境塗料 ○焼付型ポリアレタン樹脂系塗料 ○常温硬化型(熱硬化型:中温、低温)ポリアレタン樹脂系塗料 ○熱硬化型(中温)ポリエステル樹脂系塗料 ○熱硬化型(中温)アクリル樹脂系塗料 仕上げ:○メタリック ○ソリッド ○( ) (7)結露水の処理方法:●外部排出 ○密閉自然乾燥</p>					施工箇所	表面処理	各AW	○BA-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BA-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ●BB-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BB-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○C種(化成皮膜の上に塗装)																												
施工箇所	表面処理																																				
各AW	○BA-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BA-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ●BB-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BB-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-1種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○BC-2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜) ○C種(化成皮膜の上に塗装)																																				
16.2.5 工法	(1)(ウ)水切り板、ぜん板等 ●設計図による (2)(ウ)④内付け建具仕様 ○適用																																				

○ 3節 樹脂製建具				
16.3.2 性能及び構造				
(2)樹脂製建具の性能値等 (表16.3.1)				
(7)耐風圧、気密性、性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地)				
施工箇所	種別	耐風圧性能	枠見込み寸法	備考(程度)
	OA種			
	OB種			
	OC種			
(7)耐風圧、気密性、性能等級等(木下地) (表16.3.2)				
施工箇所	種別	耐風圧性能	枠見込み寸法	備考(程度)
	OD種			
	OE種			
(4)遮音性能等級等 (表16.3.3)				
施工箇所	種別	性能等級	備考(程度)	
	OT-A種	T-1		
	OT-B種	T-2		
(4)断熱性能等級 (表16.3.4)				
施工箇所	種別	性能等級	熱貫流率 (W/(m <sup>2</sup> ・k))	備考(程度)
	OH-A種	H-4	2.91以下	
	OH-B種	H-5	2.33以下	
	OH-C種	H-6	1.9以下	

16.3.3 材料	(7)ガラス:●複層ガラス ○単層ガラス ○三重ガラス
-----------	-----------------------------

16.3.4 形状及び仕上げ	(2)建具の枠の見込み寸法:●設計図による (6)表面色:●標準色、○特注色
----------------	---

● 4節 鋼製建具

16.4.2 性能及び構造				
(2)鋼製建具の性能値 (表16.4.1)				
(7)簡易気密型ドアセットの気密性、水密性等の等級				
種別	気密性	水密性		
簡易気密型ドアセット (LSD04.11.12.13)	●A-3	●W-1		
耐風圧性、気密性、性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (表16.2.1)				
施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)	
1階緊急車両車庫	●A種			
	OB種			
	OC種			
耐風圧性、気密性、性能等級等(木下地) (表16.2.2)				
施工箇所	種別	枠見込み寸法	備考(程度)	
	OD種			
	OE種			
(4)遮音性能等級等 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)				
施工箇所	性能等級	備考(程度)		
	OT-1			
	OT-2			
	OT-3			
3階サーバー室、機械室	●T-4			
(4)断熱性能等級 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)				
施工箇所	性能等級	備考(程度)		
	OH-1			
	OH-2			
	OH-3			
	OH-4			
	OH-5			
	OH-6			
(E)耐震性能:面内変形追随性の等級:D-1→D-3(クレード低→高) ●D-1(面内変形角1/300rad) ○D-2(面内変形角1/150rad) ○D-3(面内変形角1/120rad)				

16.4.3 材料	(1)鋼板類 (1)鋼板のめっき付着量	
施工箇所	種別	めっきの付着量
	○JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	○Z12 ○F12 ○
	○JIS G 3317(溶融亜鉛-アルミ合金めっき)	●Y08 ○

16.4.4 形状及び仕上げ	(1)鋼板の厚さ:●設計図による ○標仕による
----------------	-------------------------

● 5節 鋼製軽量建具

16.5.2 性能及び構造				
(2)鋼製軽量建具の性能値 (表16.5.1)				
(7)簡易気密型ドアセットの気密性:●設計図による ○A-3 ○				
(4)遮音性能等級等 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)				
施工箇所	性能等級	備考(程度)		
LSD全て	●T-1			
	OT-2			
	OT-3			
	OT-4			
(4)断熱性能等級 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)				
施工箇所	性能等級	備考(程度)		
	OH-1			
	OH-2			
	OH-3			
	OH-4			
	OH-5			
	OH-6			
(E)耐震性能:面内変形追随性の等級:D-1→D-3(クレード低→高) ●D-1(面内変形角1/300rad) ○D-2(面内変形角1/150rad) ○D-3(面内変形角1/120rad)				

16.5.3 材料	(1)鋼板類 (イ)ビニル被覆鋼板:●設計図による (ウ)カラー鋼板:●設計図による (5)召合わせ継小口包み板等の材種:●鋼板 ○ステンレス ○アルミニウム合金
● 6節 ステンレス製建具	
16.6.3 材料	(1)ステンレス鋼板の種類: ●SUS304 ○SUS430J1L ○SUS443J1 ○SUS316 ○SUS445J1 ○SUS445J2
16.6.4 形状及び仕上げ	(4)表面仕上げ:●HLL仕上げ ○
16.6.5 工法	(1)曲げ加工 :○普通曲げ ●角出し曲げ ○

● 7節 木製建具

16.7.2 材料	(1)含水率 建具材の加工、組立時の含水量
施工箇所	含水量
SK	○A種 ○B種 ○C種
(2)フラッシュ戸の材料: (a)フラッシュ戸表面材合板のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○ (b)接着剤の放散量:●標仕による ○ (c)普通合板の板面の品質:●標仕による ○ (3)かまち及び鏡板の樹種:○設計図による ○ (4)ふすま上張りの種類:○設計図による ○ (5)接着剤のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○ (9)枠及びびくつずりの材料:○設計図による ○	

16.7.3 形状及び仕上げ	(1)(ア)フラッシュ戸見込み寸法 :○設計図による ●標仕による ○ (イ)フラッシュ戸表面板の厚さ:○設計図による ●標仕による ○ (ウ)木製建具の見込み寸法:○設計図による ●標仕による ○
16.7.4 工法	(3)ふすまの工法 縁の仕上げ:○うるし塗り ●カシュー樹脂塗料2回塗り ○白木 ○( )

● 8節 建具用金物

16.8.4 鍵	(1)マスターキー:●製作する(○3本 ○ )○製作しない グランドマスターキー:○製作する(○ 本) ●製作しない コンストラクションキー:●製作する ○製作しない
----------	---

● 9節 自動ドア開閉装置

16.9.2 性能	(2)自動ドア開閉装置の性能値: 引き戸:●設計図による ○標仕による ○
16.9.3 機構	(1)扉の開閉方法:●設計図による (2)引き戸用検出装置の種類:○光線(反射)センサー ○音波センサー ○熱線センサー ●光電センサー ○電波センサー ○タッチスイッチ ○押しボタンスイッチ ○多機能トイスイッチ (7)凍結防止装置:●行わない ○行う( )

● 10節 自閉式上吊り引戸装置

16.10.3 性能等 [追加]	(2)自閉式上吊り引戸装置の性能: フリーストップ機構:●有 ○無 煙感連動解除装置:●有 ○無
------------------	--

○ 11節 重量シャッター

16.11.2 形式及び機構	(1)シャッターの種類: ○管理用シャッター ○外壁用防火シャッター ○屋内用防火シャッター ○防煙シャッター ○耐火クロス製防火/防炎スクリーン (2)耐風圧強度 (N/m <sup>2</sup> ) 管理用シャッター :○50 ○80 ○120 ○ 外壁用防火シャッター:○50 ○80 ○120 ○ (3)開閉機能による種類:●上部電動式(手動併用) ○上部手動式 (4)保護装置設置箇所( ) (6)防火シャッター及び防煙シャッター以外のシャッターケース:●設ける ○設けない
----------------	---

16.11.3 材料	(1)スラット及びシャッターケース用鋼板	
施工箇所	種別	めっきの付着量
	●JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	Z12又はF12を満足するもの
	○JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	Z12又はF12を満足するもの

○ 12節 軽量シャッター

16.12.2 形式及び機構	(1)開閉機能による種類:○上部電動式(手動併用) ●手動式 (2)耐風圧強度:○50 ○80 ○120 ○	
16.12.3 材料	スラットの材質	
施工箇所	種別	めっきの付着量
	●JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	Z06又はF06を満足するもの
	○JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)	AZ90を満足するもの

16.12.4 形状及び仕上げ	(2)スラットの形状:○インターロック型 ○オーバーラッピング型
-----------------	----------------------------------

● 13節 オーバーヘッドドア					
16.13.2 形式及び機構	セクションの材質	ガイドレールの材質	操作方式	収納形式	備考
	○スチールタイプ ●ステンレス ○バランス式 ●スタンダード形	●アルミニウムタイプ ○鋼板 ○チェーン式 ○ローヘッド形	●ファイバークラスタイプ ○ ●電動式 ○ハイリフト形	○ ○ ○	○ ○ ○
(2)耐風圧性能区分:○50 ○75 ○100 ○125 ●1250					

16.13.3 材料	(2)ガイドレールに使用する材料:○溶融亜鉛めっき鋼板 ●ステンレス鋼板
------------	--------------------------------------

● 14節 ガラス

16.14.2 材料	(1)板ガラス 種別、種類、仕様等は設計図による。
(2)ガラス留め材 (表16.14.1)	
建具の種類	材質
アルミニウム製	●シーリング材 ●ガスケット(●グレイジングチャンネル形 ○ビート形)
鋼製	●シーリング材 ○ガスケット(○グレイジングチャンネル形 ○ビート形)
ステンレス製	●シーリング材 ○ガスケット(○グレイジングチャンネル形 ○ビート形)
木製	○押縁 ○シーリング材
シーリング材は(表9.7.1)による。	

16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	(1)板ガラスをはめ込む溝の大きさ:●建具の製造所の仕様による ○面クリアランス mm ○エッジクリアランス mm ○掛り代 mm
---------------------	--

16.14.4 工法	(2)(ウ)熱線反射ガラスの映像調整:○行う ●行わない
------------	------------------------------

16.14.5 ガラスブロック積み	(1)材料 ガラスブロックの表面形状(柄):○( ) 色調:○( ) 呼び寸法:○( ) 厚さ:○( ) 壁用金属枠及び補強材:壁用金属枠○( ) 補強材:○( ) カ骨の材質:○SUS304 ○( ) 寸法:○径5.5mm ○( ) 形状:○はしご形状複筋及び単筋 ○( ) 化粧目地モルタルの色:○( ) シーリング材の種類:○( ) 金属製化粧カバーの材質:○( ) 寸法:○( )形状:○( )
(2)工法 (7)風圧力に対応した工法:○( ) (イ)壁用金属枠の取付け:○木下地の場合の壁用金属枠取付け時の留め付け間隔 (ウ)(ア)、(イ)以外の工法 (a)目地幅の寸法:○標仕による ○設計図による ○ mm (b)伸縮調整目地の位置:○標仕による ○設計図による ○ mm (h)目地仕上げ (i)伸縮調整目地部のカ骨の補強方法:○ガラスブロック製造所の仕様 ○	

16.14.6 [追加] 飛散防止、樹脂ガラス等	a.飛散防止フィルム 施工箇所:(建具表による ) 機能:(●飛散防止 ○断熱 ) 色:(●透明 ○( )) 程度:(厚さ:234um、製品(3M ULTRASS800)同等)
b.樹脂ガラス 施工箇所:( ) 材料種類:(○ポリカーボネイト ○アクリル樹脂 ○ ) 機能:(○飛散防止 ○断熱 ) 色:(○透明 ○エンボス( )) 程度:(厚さ: 、製品( )同等)	

17章 カーテンウォール工事

○ 1節 共通事項

17.1.2 [追加] 基本要品品質	施工図には、パネルの割付け、取付け金物の配置、浸入水、結露水の排水処理、層間変位追従方式、層間ふさぎ、耐火被覆及び他の工事との取合い等の詳細を記載する。
--------------------	--

17.1.3 性能	(1)諸性能値 耐風圧性
-----------	-----------------

性能値		備考
設計用風圧力の最大値	Pa	●建築基準法施行令第82条5又は建設省告示1458号により算出した値とし、速度圧はS-3(±1600Pa)以上とする。
○正圧: Pa		
○負圧: Pa		
設計用風圧力に対するたわみ及び絶対量(mm)		
○メタルカーテンウォール	○PCカーテンウォール	
○たわみ 1/ 以下	○たわみ 1/ 以下	○設計用風圧力に対し、支点間距離が4.0m以下での主要部材のたわみ
○絶対量 mm以下	○絶対量 mm以下	
○たわみ 1/ 以下	-	○設計用風圧力に対し、支点間距離が4.0mを超える場合の主要部材のたわみ
○絶対量 mm以下		
●ガラスの破損、有害な亀裂の発生、ひずみの残留などの起こらないこと。 ●風洞実験を行った場合はその値による。		

耐震性

メタルカーテンウォールの層間変位追従性能 <JASS 14.2>			
ランク	カーテンウォールが受けた層間変位	カーテンウォールの破損の程度	備考
OA	1/300	●健全で再使用できる程度(水密性能の低下をきたすようなシール・気密材の剥離・離脱等もなく、まったく補修を必要としない程度)	
OB	1/150	●主要部が破損しない程度(ガラス、パネル、支持部材、部品等の脱落、破損がない程度)	
OC	1/	●主要部が破損しない程度(ガラス、パネル、支持部材、部品等の脱落、破損がない程度)	建物の水平保有力と同等とした場合
●大地震時にも、脱落しないこと ●大地震時には、ファスナーが躯体変位にスムーズに追従し、かつ漏水などの外壁機能の低下を生じないこと。			

PCカーテンウォールが確保する水準(破壊程度の区分)は <JASS 14.2>による  
●大地震時の強制変形角に対して、ファスナーが追従でき、パネルが脱落しないこと。  
●中地震時の強制変形角に対して、ファスナーがスムーズな追従性能を有し、シーリング性能を保持して漏水がないこと。

水密性能		
部位	性能値	備考
可動サッシ部(平均値)	○ Pa	●400Paを平均圧力として設定する。
一般部分(平均値)	○ Pa	●設計用風圧力の正圧最大風圧力の1/2を平均圧力として設定する。
●室内側に漏水が起こらないこと。		

気密性能 (JIS A4706.A4702)		
等級	気密性等級線	備考
○A-3	8等級線以下	●基準階標準部分の平均通気量は圧力差10Paに対し、
○A-4	2等級線以下	2m <sup>3</sup> /h・m <sup>2</sup> (2等級線)以下を基準とする。

耐火性能	
●建築基準法施行令第107条及び第112条10項による。 ●火煙防止層及び層間ふさぎは法令を満足すること。	

耐温度差性能 <JASS 14.2>	
材料	ΔT(部材の実効温度差℃)
直射日光のあたる暗色の金属材	80℃
直射日光のあたる明色の金属材	70℃
その他の部材	60℃
●構造上、美観上、性能上有害な欠陥が発生しないこと。	

遮音性能 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)		
施工箇所	性能等級	備考(程度)
	OT-1	
	OT-2	
	OT-3	
	OT-4	
●可動サッシ部分を含めた総合透過損失がガラスの遮音性能を下回らないこと。		

断熱性能 (ドアセット:JIS A 4702、サッシセット:JIS A 4706)		
施工箇所	性能等級	備考(程度)
	OH-1	
	OH-2	
	OH-3	
	OH-4	
	OH-5	
	OH-6	

シーリング方式	
○オープンジョイント方式 ○シングルシール方式 ○ダブルシール方式 ○上記の混合方式 ○	

ガラスの支持方式	
○不定形シーリング材構成 ○構造ガスケット構成 ○グレイジングガスケット構成 ○SSG構成 ○DPG構成 ○( )	

断熱材	
●結露防止及び断熱のために使用する。吸湿性のない材料、結露が発生した際に接触する金属を腐食させない材料、所定の耐火性能を満足する材料を使用する。 ●部材の伸縮による接合部の恐れのある部分及び層間変位追従のため部材間の滑りを必要とする部分には、摩擦低減材を使用する。	

接触腐食	
●異種金属、コンクリートなどの接触による腐食が生じ、美観その他の性能に欠陥を生じることのないよう絶縁する。	

(3)性能確認試験	
性能確認試験 :○行わない ●行う( ) 試験体の製作 :○製作しない ●製作する(寸法: ) 試験の種類 :●耐風圧 ●耐震 ●水密 ●気密 ●遮音 ○( )	